

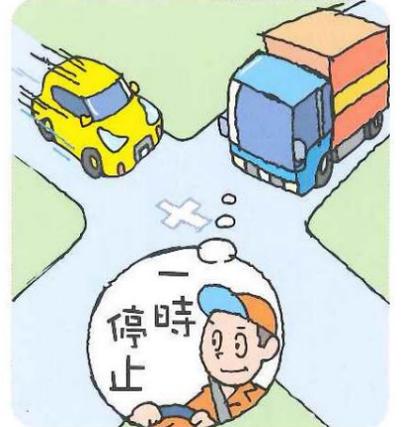
今月の重点管理目標 — 交差点事故の防止 —

1

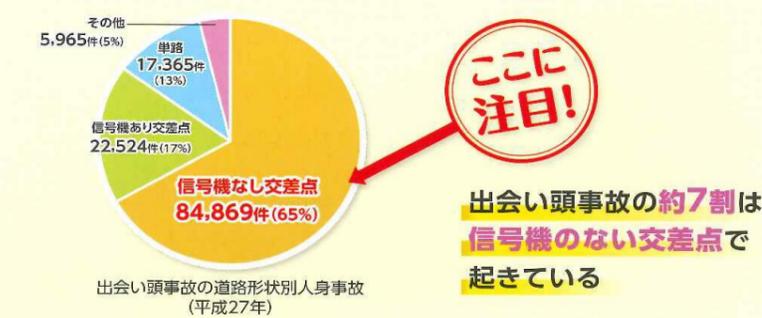
一時停止を 確実に励行しよう

事故類型別の死亡事故件数をみると、毎年「出会い頭事故」が多発しています。

また、出会い頭事故のほとんどは信号機のない交差点で発生しています。信号機が設置されていない交差点では、一旦停止を確実に実施して出会い頭事故を防ぐようにしましょう。



●信号機のない交差点では出会い頭事故に注意



事故事例に学ぶ
相手が「止まると思って」出会い頭に衝突

2011年、群馬県の信号機のない市道交差点で、午前10時半ごろ、一時停止標識のある道路をやってきた軽自動車と優先側のトラックが出会い頭に衝突し、軽自動車の乗員4人が死傷しました。トラックのドライバーは「軽乗用車がくるのは見えたが止まると思った」と述べています。

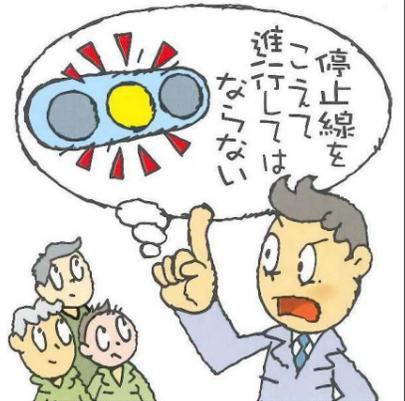
教訓
相手に停止義務があっても、止まるだろうと期待しないで警戒する



2

イエローストップ 運動を展開しよう

信号が黄色になるとスピードを上げて交差点を通過する車がありますが、黄信号の本来の意味は「停止位置を超えて進行してはならない」です。それを「ただし、完全に停止することが出来ない時は進むことができる」というところを、自分勝手に解釈しているだけです。交差点手前で黄信号になったときは、ゆとりを持って停止しましょう。



3

左折時に死角に 隠れ危険を分ろう

トラックの左側には大きな死角があり、左折時に後方からくる自転車などと衝突する事故が少なくありません。左折の際には、何度でも後方の安全確認を徹底しましょう。

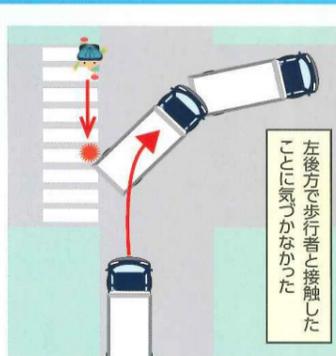


左側に人を立たせて、死角の大きさを体験させてみよう

事故防止のヒント

オーバーハングで横断者と接触しないようにしましょう

狭い交差点などを右折するときに、リアオーバーハングのために横断歩行者と接触することがあります。狭い交差点を右折するときは、左後方が横断歩道にかからないように注意してください。



左後方で歩行者と接触したことに気づかなかつた